

事業番号	05 05 08		事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求		<input type="checkbox"/> 当初予算案		<input type="checkbox"/> 補正予算案		<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	(信州ACE(エース)プロジェクト関連)					担当課	部局	健康福祉部					
	地域課題に応じた減塩等モデル事業						課・局・室	健康増進課					
総合5か年計画	プロジェクト	4－1－1 健康づくり・医療充実プロジェクト					E-mail	<a href="mailto:kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp">kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp</a>					
	施策の総合的展開	6－1 健康で長生きできる地域づくり											
		1 保健活動の推進				実施期間							
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5－4 賑わいのある快適な健康長寿のまち・むらづくり				H27 ～ H29							
	施策展開	4－（3）地域の絆に立脚する「しあわせ健康県」の実現											
		ア 健康づくりの促進											

1 事業の概要

目指す姿	保健福祉事務所と市町村が協働で、地域の健康課題を分析し、その課題に対応するモデル地区を設定して結果を分析することにより、生活習慣の改善の取組を普及する。 (成果目標:1人1日当たりの食塩摂取量10.6g(H25) → 9g(H29) )    [県民健康・栄養調査]				
現状 (予算編成時)	○全国に比べて脳血管疾患の死亡率が高い→ 成人男性の約6割、女性の約5割が高血圧。 ○食塩摂取量→ 減少傾向にあるが、食塩をとり過ぎている人の割合は男女共に8割を超えおり、都道府県別の摂取量は全国で2番目に多い。 ○脳血管疾患の死亡状況等には地域差がある→ 地域の課題に応じた効果的な取組が必要。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】		
	県民との協働による実施:    実施中		健康増進法、信州保健医療総合計画(第2次県健康増進計画)、感染症予防事業費等国庫負担(補助)金交付要綱		
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○モデル事業の実施    6地区 (設定理由:H29の目標値9gの達成に向けて、モデル的に減塩に取り組む地区をH27年度の4から、2地区を加え6地区と設定)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績		
			(当初)	(決算)	(当初)
	地域課題に応じた減塩等モデル事業	直接	・地域の健康課題分析のための研修会及び検討会の実施(2回/年) ・保健福祉事務所と市町村による減塩等モデル事業	559	334
委託		・尿中ナトリウム検査委託 委託先(株式会社保健科学研究所)	126	63	126
		合計	685	397	695

事業コスト	区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	640	685	695				目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計(A)	640	685	695							
	Aの財源	一般財源	320	343	348							
		県 債										
		国庫支出金	320	342	347							
		その他										
	決 算 額(B)		496	397								
	概 算 人件費	職員数(人)	1.00	1.40	1.40							
		概算人件費 (C)	8,276	11,080	11,080							
概算事業費(B(A)+C)		8,772	11,477	11,775								

目標に対する成果の状況	H28年度は、脳血管疾患標準化死亡比が高い地域の中から選定した6地区において、減塩の必要性に関する学習会への参加、調理実習や味覚チェック等の体験を通じて減塩のコツを習得するといった参加型のプログラムをモデル的に行った。このプログラムに参加した人たちは概ね1g減塩を達成する成果があった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	モデル6地区において継続して取組を実施するとともに、減塩の取組が他地域にも波及するよう、保健衛生関係者への効果的なプログラムに関する情報発信や、モデル事業参加者や食生活改善推進員がコンシェルジュとなって減塩のコツを地域に広めるなどの普及啓発を進める。